

No.211 悪性リンパ腫 化学療法(R-CHOP療法導入) 基本パス

ID @PATIENTID

氏名 '@PATIENTNAME

	入院日・治療前日	治療日			治療2日目～5日目	治療6日目	治療7日目・退院日
	/	治療前	リツキシマブ投与	CHOP療法投与	/ ~ /	/	/
目標	<ul style="list-style-type: none"> 化学療法の必要性を理解の上、文書にて治療の同意をしている。 治療のスケジュールが理解できる。 治療の合併症および副作用を理解している。 		<ul style="list-style-type: none"> リツキシマブによるアレルギー症状が現れたとき、すぐに報告ができる。 点滴によるトラブルが起きないように注意を払うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> CHOP療法による副作用が現れたとき、すぐに報告ができる。 点滴によるトラブルが起きないように注意を払うことができる。 プレドニンをはじめとする薬の内服を確実にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> プレドニンをはじめとする薬の内服が確実にできる。 治療開始前と同じリズムで排便がある。 うがい、手洗いなどの感染予防が実施できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発熱性好中球減少症について理解できる。 発熱時の対応が理解でき、実施できる。 末梢神経障害について理解できる。 うがい手洗いなどの感染予防ができる。 	
検査	治療を始めるために、以下の検査を行います。 <input type="checkbox"/> 採血 <input type="checkbox"/> レントゲン <input type="checkbox"/> 心電図 <input type="checkbox"/> その他()				<ul style="list-style-type: none"> 治療2日目に血液検査があります。 その後は必要時に血液検査があります。 		
治療処置	内服薬の持参があれば、入院時に看護師に渡してください。 薬剤師が内容を確認後、担当医により内服の継続、中止を判断します。	<ul style="list-style-type: none"> 点滴用に留置針を挿入します。 リツキシマブ投与前にアレルギー予防の薬を使用します。 ポララミン 5mg 1A ソル・コーテフ 100mg 1A 静注 CHOP療法の投与前に吐き気止めの点滴を行います。 グラニセトロン3mg 点滴 30分 	<ul style="list-style-type: none"> リツキシマブは少量から始めて、身体の状態を見ながら徐々に点滴の速度を上げていきます。 リツキシマブを始めて、随時体温や脈拍、血圧、酸素飽和度を看護師が測定します。 プレドニン内服()錠 朝・昼 	点滴 ・ドキシソルピシン 10分 ・オンコビン 10分 ・エンドキササン 30分 点滴がおわったら、針を抜きます。	吐き気があるとき、追加で別の種類の吐き気止めを内服できます。 不眠時、睡眠導入剤を内服できます。		
観察	<ul style="list-style-type: none"> 身長・体重 体温・血圧・脈拍 酸素飽和度 	<ul style="list-style-type: none"> 体温、血圧、脈拍 酸素飽和度 主な副作用 便秘 吐き気や嘔吐、倦怠感 点滴部位の腫れや痛み アレルギー様症状：のどの違和感、全身のかゆみ、息苦しさなど 不眠 			<ul style="list-style-type: none"> 体温、血圧、脈拍 酸素飽和度 主な副作用 便秘 吐き気や嘔吐、倦怠感 不眠 	<ul style="list-style-type: none"> 体温、血圧、脈拍 酸素飽和度 主な副作用 便秘 吐き気や嘔吐、倦怠感 不眠 	
活動	特に制限はありません。		治療に差し支えない程度であればかまいません。			特に制限はありません。	
清潔	入浴できます。		点滴時以外は入浴できます。			入浴できます。	
食事	特に制限はありません。		特に制限はありません。			特に制限はありません。希望に応じて食事を変更できます。	
説明・指導	以下について説明します。 ・担当医から治療計画について ・看護師から入院生活について ・治療パンフレット	副作用症状があればお知らせください。 以下について説明いたします。 ・外来での治療計画について。 ・発熱性好中球減少について。 ・薬について				重大な副作用がなければ退院が可能です。 退院後の生活や緊急時の対応について説明いたします。	